

平成 17 年 4 月 18 日

第 16 回 武庫川流域委員会 議事骨子

1 議事録及び議事骨子の確認

松本委員長と土谷委員が、議事録及び議事骨子の確認を行う。

2 運営委員会の報告

3 月 28 日開催の第 19 回運営委員会、及び 4 月 11 日開催の第 20 回運営委員会の協議状況について、松本委員長から報告があった。

3 治水計画の詳細検討（流出解析（継続））

流出解析ワーキングチーム主査の川谷委員から、「流出モデル（流出計算法）の比較」及び「流出計算モデル（貯留関数法、準線形貯留型モデル）の再現性」について報告・説明があった。協議の結果、次のことが確認された。

流出モデルとして、「準線形貯留型モデル」を選定する。

「準線形貯留型モデル」の問題点等については、今後、作業を進める中で整理し、克服していく方策を探る。

4 ワーキンググループからの報告

各ワーキンググループ（環境、森林・農地、まちづくり）から、作業項目、活動状況等について、報告があった。

中川委員から、今後の進め方（意見書）について、説明があった。

5 その他

- ・第 5 回川パ-ミーティングは、平成 17 年 6 月 5 日(日)13:30 から、三田市商工会館で開催する。
- ・第 20 回委員会は、平成 17 年 7 月 5 日(火)13:30 から開催する。